

・ 5分前着席を心がけましょう

司 式 熊 田 雄 二 牧 師

奏 楽 浅 池 慶 子 姉 妹

前 奏
開 会 招 詞

* 賛 美 歌 6 : 1 我 ら の 御 神 は 天 地 す べ ま す

わ れ ら の み か み は あ め つ ち す べ ま す

国 々 島 々 よ ろ こ び た た え よ アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 2 (詩 編 51 編)

かみ 神よ、わたしを^{あわ}憐れんでください。おんいつく 御慈しみをもって。ふか おんあわ 深い御憐れみをもって、そむ つみ 背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、^{とが}罪から清めてください。わたしは咎のうちに^う産み落とされ、^お母がわたしを身ごもったときも、わたしは^{つみ}罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い^{こころ}心を創造し、^{あた}新しく確かな^{れい}霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の^{じゆう}霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの^{さんび}賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、^{なにもの}何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ^{ぞう}像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに^{つか}仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、^{かみ}主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、^なみ名をみだりに唱える者を、^{ばつ}罰しないではおかない。
4. ^{あんそくにち}安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは^{かんいん}姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について^{ぎしやう}偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人^{りんじん}のものをむさぼってはならない。 (出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 72 : 1 心 を 高 く 上 げ よ

心 を 高 く 上 げ よ 主 の 御 声 に 従 い

た だ 主 の み を 見 上 げ て 心 を 高 く 上 げ よ アーメン

公 同 の 祈 禱 祈 禱 書 5 使 徒 信 条

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われは、その独り子、われらの主イエス・キリストを信ず。主は、聖霊によりて宿り、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。

われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪の赦し、からだのよみがえり、としえの命を信ず。 アーメン。

献 金 (黒)教会活動 (赤)中会活動を覚えて 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

信 仰 告 白 式

聖 書 朗 読 ルカによる福音書 2章8~20節 (新約聖書 103頁)

説 教・祈 禱 「この方こそ主メシア」 熊田雄二牧師

- * 賛 美 歌 22:1 神の御子はこよいしも
神の御子はこよいしも ベツレヘムに生まれたもう いざや友よもろともに
急ぎ行きておがまずや 急ぎ行きておがまずや アーメン

* 主 の 祈 り 祈 禱 書 1

天にまします我らの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ

我らを試みに会わず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

- * 頌 栄 63 あめつちこぞりて
あめつちこぞりて かしこみたたえよ
み恵みあふるる 父・御子・御霊を アーメン

- * 祝 禱
後 奏 (黙禱)

報 告

古澤純一長老

I この方こそ主メシア

天使は、誰と比べて「この方こそ主メシアである」と言ったのでしょうか。天使のお告げと天からの大讃美は2章の始めから続いている話なので、それは1節の「皇帝アウグストゥス」です。初代ローマ皇帝アウグストゥスは、古代オリエントの戦乱を鎮めた救世主と讃えられていました。古代オリエントの世界は、今のイラン、イラク、シリア、イスラエル、エジプトから地中海の世界です。昔も今もひどい戦乱が続いている、痛ましい地域です。

それを鎮めたのですから、皇帝アウグストゥスは素晴らしい救世主と讃えられました。しかし、だんだん神格化されて、神と呼ばれるようになったのです。それが「この方こそ主」の「主」＝「キュリオス」です。ローマ皇帝を「主」と崇めるキュリオス礼拝が献げられるようになりました。ローマ皇帝が「主メシア」と讃えられていた時代に、天使は「飼い葉桶で生まれた赤ちゃん」を「この方こそ主メシアである」と告げたのです。

II どちらが本当に「主メシア」か

ローマ皇帝アウグストゥスと「飼い葉桶の赤ちゃん」、どちらが本当に「主メシア」でしょうか。それは、どちらの国が無くならないで続いているかで明らかです。ローマ帝国は、「飼い葉桶の赤ちゃん」から始まった神の国を滅ぼそうとしましたが、300年経ってあきらめて、外見上キリスト教国となりました。やがて東ローマ帝国・西ローマ帝国に分裂して、今はどちらもありません。かつては、「全ての道はローマに通ず」と讃えられたローマ帝国、「ローマは一日にしてならず」と言われて、その栄光は永久に続くかと思われたローマ帝国。その国は、今やありません。

「飼い葉桶」の赤ちゃんから始まった国は、国境を越えて、今もあります。大英帝国のような、外見上のキリスト教国のことではありません。キリストを礼拝する教会が、キリストの国、神の国の地上の都です。聖書がいつの時代にも語ってきた天国への入り口です。キリストの教会は、今、世界中にありますし、ここにもあります。

今も、世界は戦乱に継ぐ戦乱です。世界の歴史を振り返ってみたら、戦乱でないような時代はありません。人類の罪が地球を覆っています。私たち人類は罪深いのです。しかし、神の恵みによって、救いの契約が人類の歴史を貫いています。最初のクリスマスからいっそう輝いている強い光が、神から与えられた希望の光、聖書の救いのメッセージです。

「飼い葉桶」の赤ちゃんは、たった33年の生涯でした。しかし、そのあと不思議な国が始まって、今年で2020年です。不思議な国の王様は生きておられます。今も、誰でも聖書から信仰を学んで、「主メシア」がお始めになった不思議な国に入ることができるようにしてくださっています。今、12月のクリスマスに向かっている私たちの礼拝が何よりの証拠です。「飼い葉桶の赤ちゃん」を「主メシア」と信じる人には、永遠の命の灯がともるのです。

III その国はエルサレムではなくベツレヘムで始まった

ダビデ王への神の約束は「あなたの子孫から永遠の王座に着く者を起こす」ということでした。このダビデ契約は、ダビデがエルサレムで王になった時、与えられましたので、「ダビデの子」という永遠の王は、エルサレムの宮殿で生まれるのがふさわしいはずで、ところが、そうではありませんでした。こう預言されていました「ユダの地、ベツレヘムよ、お前はユダの指導者の中で、決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、私の民イスラエルの牧者となるからである。」（ミカ5：1）。

そして、天使のお告げは、ベツレヘムの羊飼いたちに知らされました。すると、ダビデが羊飼いの少年だったことを思い起こします。「ダビデの町ベツレヘム」は、小さいけれど小さくないということになりました。「飼い葉桶」の赤ちゃん誕生の1000年前、神様は預言者サムエルに命令しました。「ベツレヘムのエッサイという人の所へ行け。その息子から、サウル王に代わる王を立てる」。そこでサムエルがベツレヘムにやって来た時、エッサイは、七人の息子たちをサムエルの前に並ばせました。サムエルは次々と「この子かな、この子かな、」と思ったのですが、神様は全部違うと言われました。そこでサムエルは「他に息子はいないのか」と聞いたら、エッサイは「末の子が残っていますが、今、羊の番をしています」と答えました。

末っ子は小さいので対象じゃあないと思っていたのでしょうか。しかし、人間の思いがどうであれ、存在しているものには、すべて、神の意思と目的があります。存在は、すべて、神が存在させたのです。末っ子ダビデは「エッサイの根」というほど小さな存在でしたが、神は預言者サムエルに言われました。「その子に油を注げ」。

少年ダビデが王であることは、大男ゴリアテを倒した出来事で表されました。ダビデとゴリアテの話では、やはりダビデの言葉を思い出さないといけません。「お前は剣や槍で向かって来るが、ボクは万軍の主の名によって立ち向かうんだ。」 小さな者に神の力が働いて、大きなわざがなされたのです。

ベツレヘムの羊飼いたちに告げられた天使の言葉は、そのことを意味しているのです。「恐れるな。私は、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。きょうダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉おけの中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」 小さく無力に見えるしるしに、神の力と栄光が表されるのです。

IV 「飼い葉桶」は受難のしるし

どんな赤ちゃんでもゆりかごが用意されるものですが、ヨセフとマリアは、皇帝アウグストゥスの命令による住民登録のあれやこれやで用意できませんでした。牛や羊が食い散らかしたあとの臭い飼い葉桶以外に、寝かせる場所がありませんでした。しかし、それこそが、羊飼いたちにとっては、最も身近なしるしでした。人口調査の対象外であるほど、身分の低い小さい者にも、神の救いは届いたのです。ダビデ王も、もともと羊飼いの少年でした。「ダビデの子」と呼ばれる救い主は、エルサレムの宮殿でもローマの宮殿でもなく、小さなダビデの町の家畜小屋で生まれました。だから、羊飼いたちは会いに行くことができたのです。

臭い飼い葉桶は、やがて、この赤ちゃんが受ける苦しみのしるしでした。そこに、神の御心がありました。十字架のキリストの姿で、神は人の罪を罰し、イエスを「主メシア」

と信じる者に罪の赦しと永遠の命をお与えになります。「飼い葉桶」は、キリストを信じる者達が受ける苦しみのしるしでもありました。この福音書が書かれた頃、ローマ帝国はキリスト教徒への迫害を始め、この福音書が書かれたあとしばらくすると、大迫害が行われるようになります。

現在、キリスト教徒を迫害する大国は中国です。政府に登録を済ませた教会は、自養・自治・自伝という三自愛国教会と呼ばれ、カトリック教会はローマ法王から自立して中国的な教会になれと迫られています。政府に登録していない教会、いわば家の教会とか地下教会とかは、消滅の危機にあります。

大会執事活動委員会を通しての、中国の地下教会が運営する孤児院への献金が、牧師では入国審査で認められず、年配の女性信徒でないと届けられない状態になっています。2018年2月の宗教活動規則改訂によって、さらに厳しくなりました。キリスト教徒だけでなく、チベットの仏教徒やウイグル自治区のイスラム教徒にも厳しくなっていると報道されています。

共産主義は無神論の思想を持っていますので、最終的には宗教は要らなくなると思っています。しかし、現実には宗教心がないと道徳心がなくなって犯罪がはびこるので、時の政府は様々な対応に迫られます。

毛沢東の時、北米キリスト改革派教会の宣教師は国外退去となり、日本キリスト改革派教会と宣教協力するようになりました。上福岡に伝道してくださったブルノギ宣教師はその一人です。鄧小平になってから毛沢東の路線は修正され、経済の自由化と共に宗教や文化もやや自由になりました。そして、習近平国家主席になってから取りしまりが強化され、迫害が広がり、宗教活動が難しくなっています。広い国ですので、地方政府によって迫害にいろいろな違いがあるようです。

共産主義の中国は、中国五千年の歴史の中で、まだ70年です。数千年の歴史も、次々と支配者と支配国が入れ変わりました。この世の大国はローマ帝国と同じでしかないので。迫害しても、小さく弱く見えるところにこそ働く神の力を防ぐことはできないのです。居場所がないように見える者たちに現わされる神の栄光をはばむことはできないのです。

中国のクリスチャン人口は、国としては約2500万人と発表しているようですが、ある宣教団体は1億人以上いると言っています。つまり、政府公認の教会のクリスチャンより、非公認の家の教会・地下教会のクリスチャンの方が多いのです。神の民は、世俗化で滅びることはあっても、迫害で滅びることはありませんでした。飼い葉おけのような狭き門の方が強いのです。